

涼しげな音色に包まれて

豊橋の 七夕風鈴まつり
さくらピア

蒸し暑い毎日をかきわやかに。豊橋市障害者福祉会館（さくらピア）で現在、「七夕風鈴まつり」が開かれている。館

方小学校の杉田文夫教頭は「子どもたちの安全面を考えると防犯カメラの設置は学校としてもありがたい」と話す。

市の補助制度は防犯カメラ代や設置費などを限度額50万円で8割補助する。現在、商店街と自治会の2地区が設置に動いている。プライバシー侵害を懸念する声もあるため撮影範囲の家主の承諾書提出などのルール作りが取り組まれている。

(飯塚雪)



風鈴が並ぶ館内＝さくらピアで

内で揺れる素焼きの風鈴が、涼しげな音色を響かせている。同館では地域の交流を目的に3年前から同まつりを実施。今年6月3日から笹飾りと風鈴を飾り付け始めた。200を超える風鈴が館内を彩る様は壮観だ。風鈴は同館利用者をはじめ、地元の向

山小・八町小・旭小の特別支援教室を中心とした児童たち、近隣住民らが制作。絵の具やパステル、マジックペン、シールなどでカラフルに彩色し、「足が速くなりますように」「長生きできますように」「に」などの願いを込めた短冊をそれぞれに結わえた。利用者はもちろん、近くを通った住民らが「たくさん飾ったね」と見学に立ち寄ること

も多いという。風鈴まつりは7月13日まで。期間中の6日午後6時から「七夕織姫ライブ」と題して二胡の無料

演奏会を開き、岡崎市の中村ゆみこさんと教室生ら7人が「たなばたさま」「涙そうそう」などを披露する。(田中博子)

2014年6月29日
東愛知新聞